

各位

杜の都信用金庫

2023年度 上半期（4月1日～9月30日）の業績等について

杜の都信用金庫の2023年度上半期（4月1日～9月30日）の業績等についてお知らせいたします。

【1】収益面について

◇ 当期純利益は、減益となりました。

(単位：百万円・%)

	経常収益		経常利益		業務純益		コア業務純益		当期純利益	
		増減率		増減率		増減率		増減率		増減率
2023年9月	2,877	△11.4	751	△36.7	752	7.6	752	7.6	552	△40.9
2022年9月	3,250	3.3	1,188	27.1	698	0.7	698	1.3	935	22.6

貸出金利息や有価証券利息等の資金運用収益が増加したものの、貸倒引当金戻入益の減少等により経常収益は減収となり、経常利益、当期純利益ともに減益となりましたが、金融機関の本来業務から得られる利益である業務純益およびコア業務純益は増益となりました。

【2】業容面について

◇ 預金残高、貸出金残高ともに増加しました。

(単位：百万円・%)

	預金				貸出金			
	平残	増減率	末残	増減率	平残	増減率	末残	増減率
2023年9月	604,684	2.0	620,626	1.0	346,425	7.6	351,155	3.3
2022年9月	592,397	5.0	614,182	4.0	321,861	△0.7	329,686	4.9

預金は、懸賞付定期預金などの企画商品がご好評をいただいたことなどから、平残・末残ともに増加しました。

貸出金は、お客さまや地域ごとの課題等に応じた円滑な資金供給や付加価値の高い提案に努めてまいりましたことから、平残・末残ともに増加しました。

【3】健全性について

◇ 地域金融機関として十分な健全性を維持しています。

	自己資本比率		不良債権比率	
2023年9月	10.23%	0.14ポイント上昇	2.62%	0.24ポイント上昇
2022年9月	10.09%		2.38%	

※不良債権比率については、金融再生法に基づき開示しております。

自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を十分保っております。

杜の都信用金庫は、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」として、地域やお客さまの課題解決に貢献できるよう努めてまいります。